

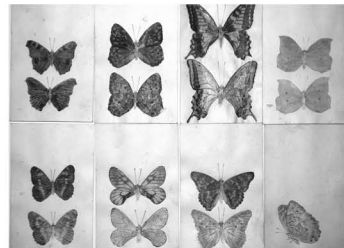


野尻上町にお住まいだった池田寅之助さんは、杉久保遺跡の最初の発見者として、日本の考古学史にも記録が残る方です。上田市在住のご子息・大久保洋さんから、寅之助さん作成のタバコ入れやチョウのはがき、また多くの研究者からの年賀状など、36点を寄贈いただきました。

千葉県市川市の三谷恵美子さんから、長年、野尻湖発掘にいられていた夫・豊さん

大久保洋様
三谷恵美子様
川村喬一様より

標本・図書などを
ご寄贈いただきました。



池田寅之助作品
上) タバコ入れなど
中) チョウのはがき
下) 年賀状 (大久保洋さん)

地球の鉱物コレクション
120点セット(川村喬一さん)

三谷豊図書とカニ標本
(三谷恵美子さん)

の遺品の図書やカニの標本、ゾウの化石など309点、および6箱の図書(未整理)を寄贈くださいました。

町内の川村喬一さんからは、鉱物標本120点と説明本をいただきました。

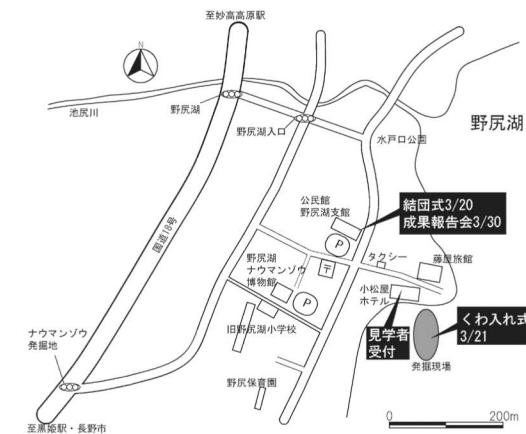
た。いずれも大変貴重なもので、これからの博物館の研究教育に大いに役立つものです。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

第20次野尻湖発掘がはじまります 見学においでください!

2014年3月21日から30日まで、野尻湖の湖底で第20次野尻湖発掘がおこなわれます。信濃町から参加する小中高生を含め、全国から210名の方がたが発掘に参加し、ナウマンゾウの化石や旧石器時代の石器などをさがします。今回発掘する場所は小松屋ホテルさんの前の湖底です。野尻湖人がゾウ狩りをしていた証拠がたくさん見つかることを期待しています。どうぞお気軽に見学においでください。

■見学を希望される方へ

発掘の期間中、毎日、見学できます。受付をしてから見学してください。午前9時30分から11時30分までと、午後1時30分から4時までは、案内係が付いて現場の中に入ることができます。



第20次発掘 見学地図

■成果報告会(無料)

発掘の成果を、スライドを使ってわかりやすくご報告します。どなたでもご参加できますので、お気軽におこしください。

日時: 2014年3月30日(日)
午後6時45分~

会場: 公民館野尻湖支館2階

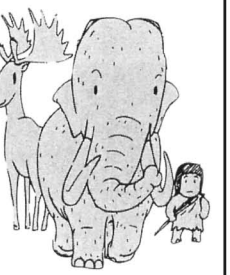
■懇親会(会費1000円)

報告会終了後、全国から来られている発掘参加者のみなさんと地元のみなさんの懇親会を予定しています。

日時: 2014年3月30日(日) 午後7時30分~
会場: 公民館野尻湖支館2階

◎野尻湖発掘に関するお問い合わせは、
野尻湖ナウマンゾウ博物館(電話258-2090)までお願いします。

博物館 の ページ



野尻湖
ナウマンゾウ博物館

旧野尻湖小学校の校舎の利用開始

旧野尻湖小学校の校舎を野尻湖ナウマンゾウ博物館が管理することになり、博物館の第2収蔵庫としての利用が始まりました。

これまで博物館では、標本や図書、野尻湖発掘のための資材などが大量にあり、博物館の建物だけでは入りきらない状態でした。そのため、柏原小学校、野尻湖支館、古間支館などの空き教室を借りて、仮収納していました。野尻湖の校舎があいたため、5月からそれらの標本や資材の引っ越しをはじめ、これまでに移動できるものの大半を運び込むことができました。



全国の報告書が並べられた図書室



町内各地の遺跡出土の遺物が整理された4年生教室 報告書に載せられた石器・土器が箱ごとに入っています。貸出が多い重要石器は、博物館の方にあります。

主な収蔵場所は、2階図書室に遺跡の報告書や野尻湖発掘に関する書籍、保存文書類、パソコン室が印刷された図書置場、3年生教室が博物館の資材や植物の材化石、4年生教室が遺跡から出土した石器・土器、1階の1年生教室が水草調査関係の資材、2年生教室が野尻湖発掘資材、保健室に石材標本、廊下に野尻湖の地層標本などが入っています。

第2収蔵庫の性格上、一般公開にはなりません。博物館にお問い合わせいただき、関係資料が必要な時にはご案内するという利用形態になると思います。

信州大学附属特別支援学校 あんぎん編みがうまくなりました!

附属特別支援学校高等部では、あんぎん編みを夏から秋の授業に取り入れ、大変教育効果が大きかったとのこと。7月29日に先生方がやり方を教わりに来られ、編み器も貸し出しました。立派に展示もできたそうです。

(生徒の感想)

縄文編布編みのコースターに取り組みました。染色した麻紐と綿紐を使い、結びめにはビーズを通して、カラフルでかわいいコースターが出来ました。一本一本編みめが揃うように編み進めました。



高等部での実習の様子



きれいにできあがった縄文あんぎんのコースター

第20次野尻湖発掘実行委員会が 開催されました

2月1日(土)、野尻湖支館で第20次野尻湖発掘の実行委員会が開催されました。野尻湖発掘は、地元の野尻区と信濃町そして野尻湖発掘調査団が実行委員会をつくり、この実行委員会で発掘がすすめられています。第20次発掘の実行委員会は、早川野尻区長が実行委員長に選出され、副実行委員長に、赤羽調査団団長と静谷教育長が選ばれました。

実行委員会では、発掘場所や今回の発掘の目標などが報告された後、発掘に必要な資材の確認や発掘期間中に発行される野尻湖新聞の配布方法などを議論しました。今回も前回同様、野尻湖新聞は各地域の総代さんをお願いして、野尻地区の各戸に配布していただくことにしました。

今回の発掘場所はこれまでで行ってきたところより、やや北側で、ナウマンゾウの骨が密集して産出した近くを掘ることになります。野尻湖がナウマンゾウの狩り場ではないかと考えられている場所であり、大きな成果があがることが期待されます。

前回の第19次発掘で産出した化石や遺物は研究が終了したので、野尻湖発掘調査団から信濃町に管理が移管されました。移管された化石・遺物は野尻湖ナウマンゾウ博物館で収蔵され、展示や研究に活用されることになります。



赤羽調査団団長(右)から松木信濃町町長に第19次発掘の出土品の管理移管証がわたされました。

発掘現場でガイドをしませんか!?

ただいま発掘ガイドのボランティアさんを募集中です。ガイドの皆さんは発掘現場に自由に入る特権があり、専門のことがわからなくても、少しも困りません。自分のことばで、見学に来るお客さんをグリッドに案内していただくのが仕事内容です。

発掘の時にだす手刷りの「野尻湖新聞」(主に学生や子供さんたちが2日に1回つくる)を読んだり、毎日の仕事はじめのミーティングでは、成果が出ている場所をご案内しますので、そのことを話していただければつとまりません。直前には、短時間のガイド説明会を行います。ぜひ、お願いします。

- 日程 3月21日(金)~30日(日) AM
- 時間 9:00~11:30、13:00~16:00
- 分担 希望の日程を選んでください。都合がつく方は、できるだけ多くの日数をやってください。
- 申込 3月14日(金)まで
野尻湖ナウマンゾウ博物館 電話 258-2090
第19次野尻湖発掘実行委員会